

(この便りは、相双建設事務所が取り組む復旧・復興事業の進捗状況などをお伝えするものです。)

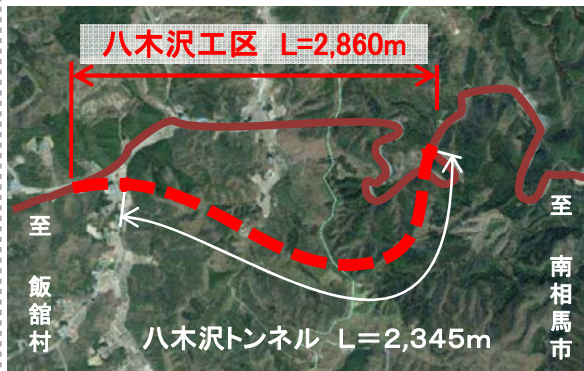
◆県道原町川俣線の八木沢トンネルが貫通しました。

県道原町川俣線の南相馬市と飯館村に跨がる八木沢峠は、急勾配や急カーブが連続し、特に冬期間は、スリップ事故や大型車の立ち往生により通行止めとなることがあったため、当事務所では、約2.9km区間の整備を進めておりました。

このうち、約2.3kmの八木沢トンネルについては、平成26年3月末から掘削作業を開始し、約2年となる3月20日(日)、予定期間を約9ヶ月短縮して、無事、貫通することができました。

貫通式当日は、桜井南相馬市長と菅野飯館村長が握手を交わすなど、今回の貫通を祝うとともに、出席者全員が、地域の復興に向け大きな弾みとなるトンネルの早期開通に期待を寄せておりました。

八木沢峠の整備は、今後、トンネル内部のコンクリート覆工や舗装工事などを鋭意進め、平成30年の完成を目指してまいります。



トンネル貫通状況

南相馬市長と飯館村長が握手

◆国道115号相馬南バイパスの一部区間が4車線で供用しました。

国道115号相馬南バイパスは、常磐自動車道・相馬ICと国道6号間のアクセス向上を目的に、市街地を迂回する約3kmのバイパスです。これまで2車線で供用していた本バイパスについて、当事務所では、常磐自動車道の全線開通などを踏まえ、4車線化の工事を進めてきたところであり、3月24日(木)に約1.4km区間を4車線で供用することができました。

残る区間の4車線化についても、通過車両の安全などに十分配慮しながら、引き続き鋭意工事を進め、地域の早期復興の大きな後押しとなる様、一日も早い完成を目指してまいります。

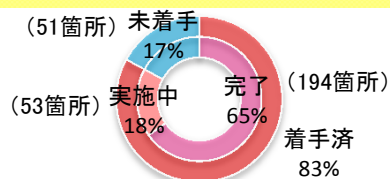


一部区間で4車線供用した相馬南バイパス

◆東日本大震災の災害復旧工事の進捗状況(平成28年2月末)

東日本大震災で被害を受けた当事務所所管の道路、河川、海岸等の災害復旧工事の進捗状況はグラフのとおりです。

(帰還困難区域で査定が未実施の箇所は含まれていません。率は事業箇所数で算出した割合です。)



○次回は「海岸堤防の整備状況」をお伝えする予定です。(進捗状況等により変更する場合があります)

